

令和4年度ネットリサーチ「いばらきアマビエちゃん」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 「いばらきアマビエちゃん」の認知度については、「名前も内容も知っている」(45.1%)、「名前だけは知っている(内容はよく分からない)」(39.4%)を合わせた【知っている】は84.5%となっている。
- 「いばらきアマビエちゃん」を「知っている」と回答した方に、「いばらきアマビエちゃん」の利用者登録について聞いたところ、「ほぼ毎回『利用者登録』を行っている」が7.5%、「たまに『利用者登録』を行っている」が25.3%となっている。
- 重要視する飲食店の感染対策については、「従業員がマスクをしている」が52.5%で最も高く、「手指消毒が徹底されている(アルコール消毒液が設置され、消毒のお願いがあるなど)」が51.4%と続く。

■調査結果の概要

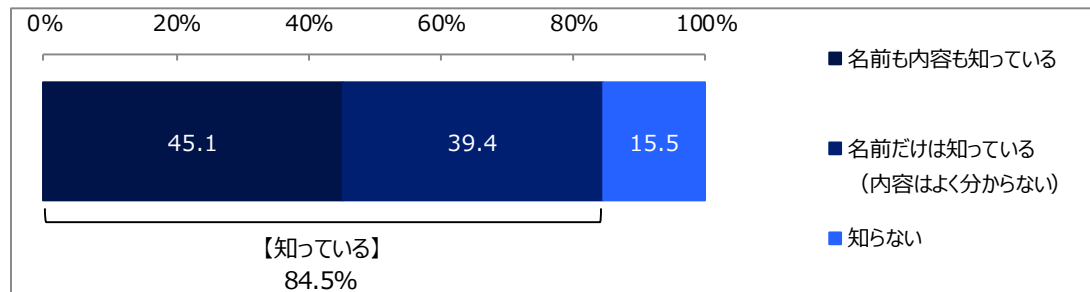
1 「いばらきアマビエちゃん」の認知度

☆ 「名前も内容も知っている」(45.1%)、「名前だけは知っている(内容はよく分からない)」(39.4%)を合わせた【知っている】は84.5%となっている。

Q1.あなたは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的として県が導入した「いばらきアマビエちゃん」を知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
名前も内容も知っている	45.1	451
名前だけは知っている(内容はよく分からない)	39.4	394
知らない	15.5	155



(※)「いばらきアマビエちゃん」とは、店舗の取り組む感染対策が「宣誓書」で分かりやすく掲示され、新型コロナウイルス感染症が発生した場合に、感染者と同じ日に同じ施設を利用した方に対して、県から注意喚起のメールを送付するシステムです。施設に掲示されている「感染防止対策宣誓書」から登録できます。

なお、「いばらきアマビエちゃん」の接触者通知は、一時的に運用を停止しております(令和4年7月現在)。利用者登録自体は可能ですので、ご自身の行動履歴の把握などに引き続き活用してください。

詳しくはこちらをご覧ください。茨城県 HP : <https://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/chusho/shogyo/2020koronatsuuchi/20200615.html>

2 「いばらきアマビエちゃん」の利用者登録

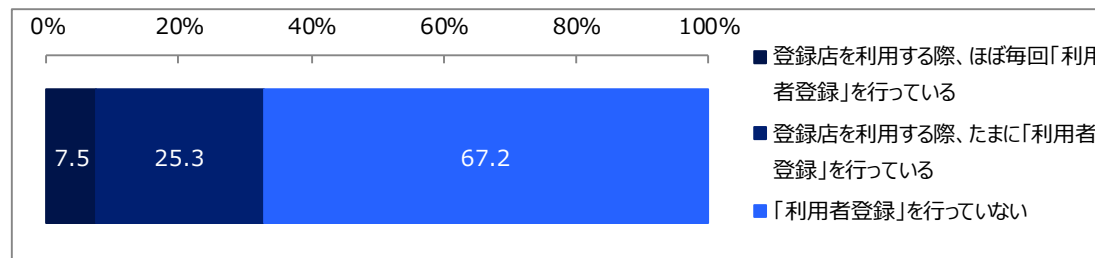
◇ 「ほぼ毎回『利用者登録』を行っている」が7.5%、「たまに『利用者登録』を行っている」が25.3%となっている。

(Q1で「名前も内容も知っている」「名前だけは知っている」と回答された方へ)

Q2.あなたは、現在（直近1ヶ月程度）「いばらきアマビエちゃん」の登録店で利用者登録をしていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

SA

	%	n
全体	100.0	845
登録店を利用する際、ほぼ毎回「利用者登録」を行っている	7.5	63
登録店を利用する際、たまに「利用者登録」を行っている	25.3	214
「利用者登録」を行っていない	67.2	568



3 利用者登録をする理由

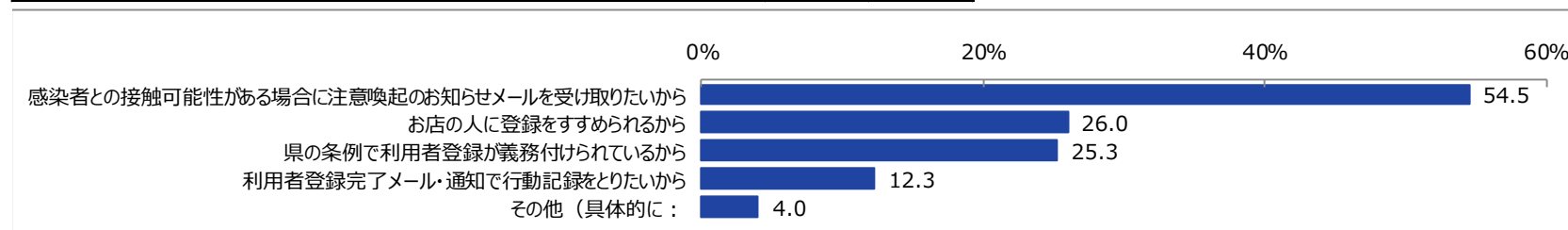
◇ 「感染者との接触可能性がある場合に注意喚起のお知らせメールを受け取りたいから」が54.5%で最も高く、「お店の人に登録をすすめられるから」が26.0%と続く。

(Q2で「登録店を利用する際、ほぼ毎回『利用者登録』を行っている」「登録店を利用する際、たまに『利用者登録』を行っている」と回答された方へ)

Q3.あなたが、利用者登録をする理由は何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	277
感染者との接触可能性がある場合に注意喚起のお知らせメールを受け取りたいから	54.5	151
お店の人に登録をすすめられるから	26.0	72
県の条例で利用者登録が義務付けられているから	25.3	70
利用者登録完了メール・通知で行動記録をとりたいから	12.3	34
その他（具体的に：）	4.0	11



(※)「感染者との接触可能性がある場合の注意喚起お知らせメール」については、一時的に運用を停止しております（令和4年7月現在）。

4 利用者登録をしない理由

◇ 「毎回登録するのが手間、めんどうだから」が45.9%で最も高く、「利用者登録のメリットが分からないから」が23.3%と続く。

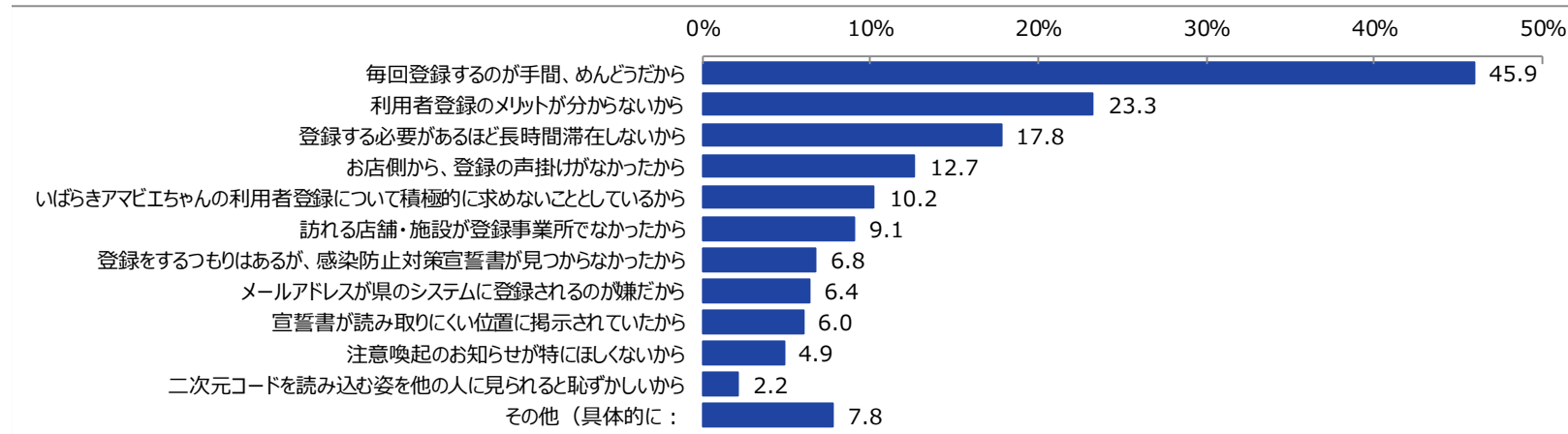
(Q2で「登録店を利用する際、たまに『利用者登録』を行っている」「『利用者登録』を行ったことがない」と回答された方へ)

Q4.あなたが、利用者登録をしない理由は何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

※Q2で「登録店を利用する際、たまに『利用者登録』を行っている」と回答された方は、利用者登録を行わない場合の理由についてお答えください。

MA

	%	n
全体	100.0	782
毎回登録するのが手間、めんどうだから	45.9	359
利用者登録のメリットが分からないから	23.3	182
登録する必要があるほど長時間滞在しないから	17.8	139
お店側から、登録の声掛けがなかったから	12.7	99
いばらきアマビエちゃんの利用者登録について積極的に求めないこととしているから	10.2	80
訪れる店舗・施設が登録事業所でなかったから	9.1	71
登録をするつもりはあるが、感染防止対策宣誓書が見つからなかったから	6.8	53
メールアドレスが県のシステムに登録されるのが嫌だから	6.4	50
宣誓書が読み取りにくい位置に掲示されていたから	6.0	47
注意喚起のお知らせが特にほしくないから	4.9	38
二次元コードを読み込む姿を他の人に見られると恥ずかしいから	2.2	17
その他（具体的に：	7.8	61



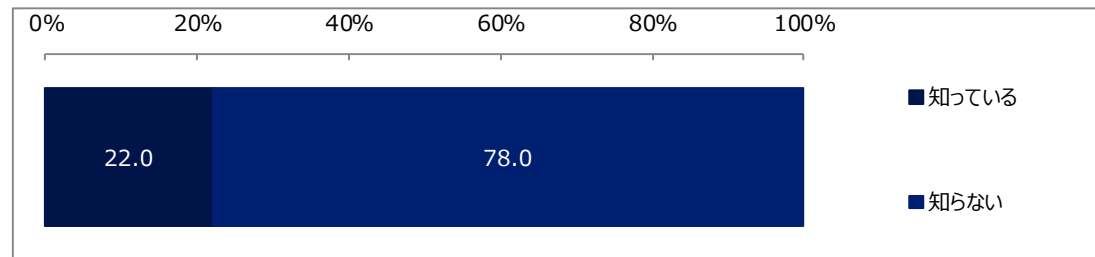
5 「新型コロナ経済両立条例」の認知度

◇ 「知っている」が22.0%、「知らない」が78.0%となっている。

Q5.あなたは、令和2年10月2日に施行された「茨城県新型コロナウイルス感染症の発生の予防又はまん延の防止と社会経済活動との両立を図るための措置を定める条例」を知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
知っている	22.0	220
知らない	78.0	780



(※) 条例の内容は主に、

(1) いばらきアマビエちゃんの登録義務化（特定業種の事業所登録、県民の利用者登録）、(2) 行動調査等への協力義務付け、(3) 差別の禁止です。

条例について、詳しくはこちらをご覧ください。茨城県 HP : <https://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/chusho/shogyo/amabieincentive.html>

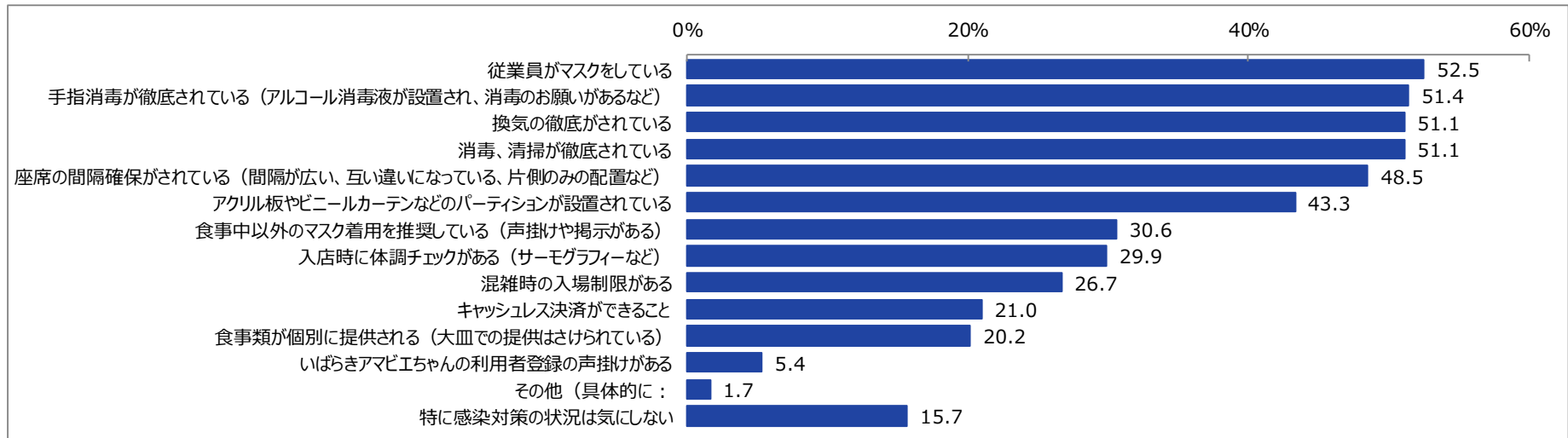
6 重要視する飲食店の感染対策

◇ 「従業員がマスクをしている」が52.5%で最も高く、「手指消毒が徹底されている（アルコール消毒液が設置され、消毒のお願いがあるなど）」が51.4%と続く。

Q6.コロナ禍において、あなたが飲食店を利用する際に、重要視する飲食店の感染対策はなんですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
従業員がマスクをしている	52.5	525
手指消毒が徹底されている（アルコール消毒液が設置され、消毒のお願いがあるなど）	51.4	514
換気の徹底がされている	51.1	511
消毒、清掃が徹底されている	51.1	511
座席の間隔確保がされている（間隔が広い、互い違いになっている、片側だけの配置など）	48.5	485
アクリル板やビニールカーテンなどのパーティションが設置されている	43.3	433
食事中以外のマスク着用を推奨している（声掛けや掲示がある）	30.6	306
入店時に体調チェックがある（サーモグラフィーなど）	29.9	299
混雑時の入場制限がある	26.7	267
キャッシュレス決済ができること	21.0	210
食事類が個別に提供される（大皿での提供はさけられている）	20.2	202
いばらきアマビエちゃんの利用者登録の声掛けがある	5.4	54
その他（具体的に：	1.7	17
特に感染対策の状況は気にしない	15.7	157



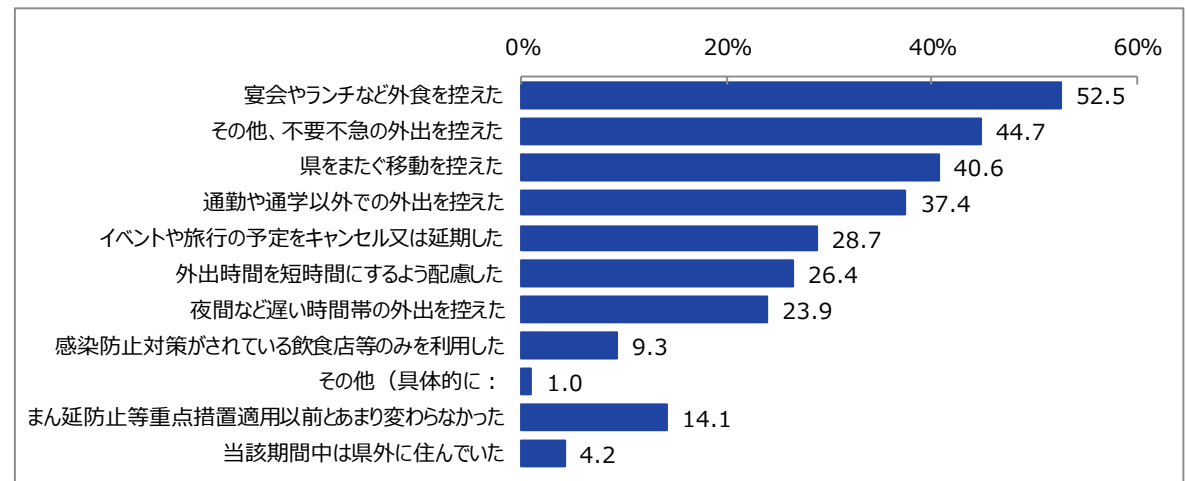
7 まん延防止等重点措置期間中の行動

☆ 「宴会やランチなど外食を控えた」が52.5%で最も高く、「その他、不要不急の外出を控えた」が44.7%と続く。

Q7.茨城県では、令和4年1月27日から3月21日までまん延防止等重点措置が適用されました。適用期間中のあなた自身の外出や行動について、次の中からあてはまるものを全て選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
宴会やランチなど外食を控えた	52.5	525
その他、不要不急の外出を控えた	44.7	447
県をまたぐ移動を控えた	40.6	406
通勤や通学以外での外出を控えた	37.4	374
イベントや旅行の予定をキャンセル又は延期した	28.7	287
外出時間を短時間にするよう配慮した	26.4	264
夜間など遅い時間帯の外出を控えた	23.9	239
感染防止対策がされている飲食店等のみを利用した	9.3	93
その他（具体的に： まん延防止等重点措置適用以前とあまり変わらなかった	1.0 14.1	10 141
当該期間中は県外に住んでいた	4.2	42

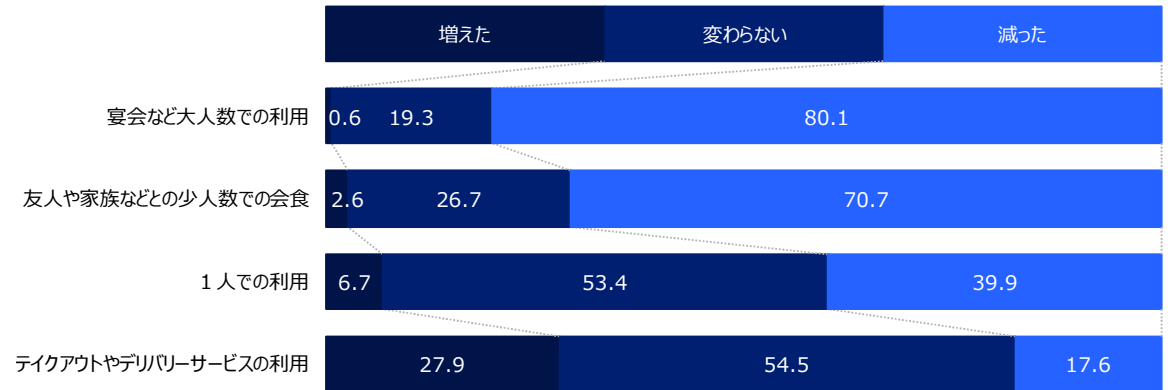


8 新型コロナ感染拡大前（2019年12月以前）と現在を比較した飲食店の利用内容

Q8.あなたは、新型コロナウイルス感染症拡大前（2019年12月以前）と現在を比べて、飲食店の利用内容はどのように変わりましたか。それぞれ項目についてあてはまるものを選んでください。

SA

	n	増えた	変わらない	減った
宴会など大人数での利用	100.0 1000	0.6 6	19.3 193	80.1 801
友人や家族などの少人数での会食	100.0 1000	2.6 26	26.7 267	70.7 707
1人での利用	100.0 1000	6.7 67	53.4 534	39.9 399
テイクアウトやデリバリーサービスの利用	100.0 1000	27.9 279	54.5 545	17.6 176

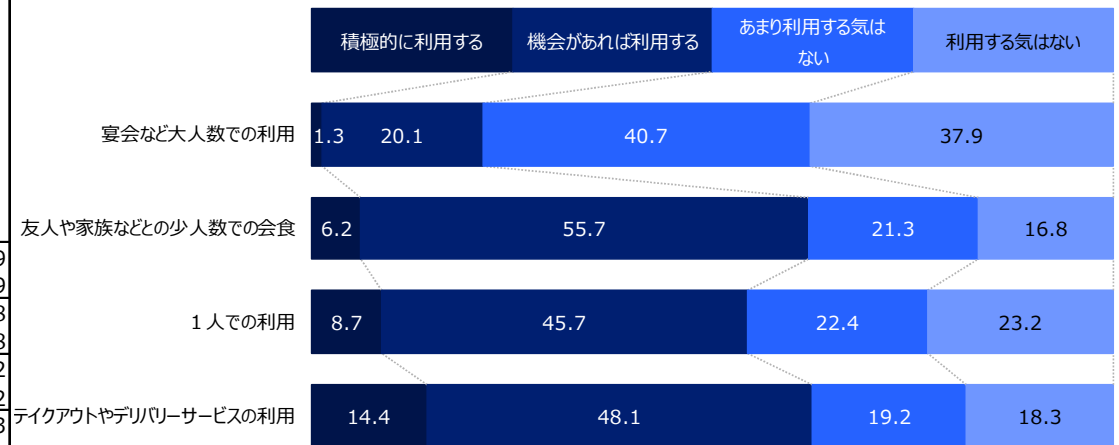


9 今後の飲食店利用について

Q9.あなたは、今後の飲食店利用について、どのように考えていますか。ア～エのそれぞれ項目についてあてはまるものを選んでください。

SA

	n	積極的に利用する	機会があれば利用する	あまり利用する気はない	利用する気はない
宴会など大人数での利用	100.0 1000	1.3 13	20.1 201	40.7 407	37.9 379
友人や家族などの少人数での会食	100.0 1000	6.2 62	55.7 557	21.3 213	16.8 168
1人での利用	100.0 1000	8.7 87	45.7 457	22.4 224	23.2 232
テイクアウトやデリバリーサービスの利用	100.0 1000	14.4 144	48.1 481	19.2 192	18.3 183



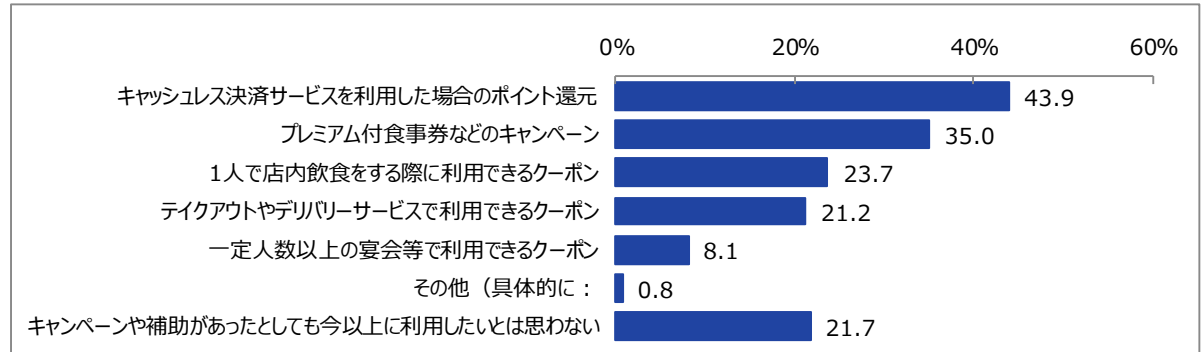
10 飲食店を利用したくなるキャンペーンや補助

◇ 「キャッシュレス決済サービスを利用した場合のポイント還元」が43.9%で最も高く、「プレミアム付食事券などのキャンペーン」が35.0%と続く。

Q10.あなたは、どのようなキャンペーンや補助があると飲食店を更に利用したいと思いますか。次の中からあてはまるものを最大2つまで選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
キャッシュレス決済サービスを利用した場合のポイント還元	43.9	439
プレミアム付食事券などのキャンペーン	35.0	350
1人で店内飲食をする際に利用できるクーポン	23.7	237
テイクアウトやデリバリーサービスで利用できるクーポン	21.2	212
一定人数以上の宴会等で利用できるクーポン	8.1	81
その他（具体的に：	0.8	8
キャンペーンや補助があったとしても今以上に利用したいとは思わない	21.7	217



■調査の目的

新型コロナウイルス感染症対策として令和2年6月から県が運用している「いばらきアマビエちゃん」について、認知度や利用状況を把握し、今後の広報活動や施策展開の参考とする。

■実施概要

- ・実施期間：令和4年7月8日～7月15日
- ・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和4年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		115	247	95	352	191	1,000
性別	男性	60	126	50	180	99	515
	女性	55	121	45	172	92	485
年代別	18～29歳	18	41	16	66	32	173
	30歳代	17	44	17	62	32	172
	40歳代	23	57	21	81	43	225
	50歳代	27	55	20	75	41	218
	60歳代	30	50	21	68	43	212

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。